

緊急防除特報

令和 6 年 8 月 7 日
黒東地域農業技術者協議会

8月5日にコシヒカリ等中生ほ場で「斑点米カメムシ類」の調査を行ったところ、1回目の防除後でしたが、ヒエが多発しているほ場を中心に発生が確認されました。

県下的にも斑点米カメムシ類の発生が多い状況にあり「カメムシ注意報第2報（7月23日発表）」が出されています。

産米の品質低下を防ぐため、以下に該当する場合は3回目の殺虫剤散布をご検討ください。

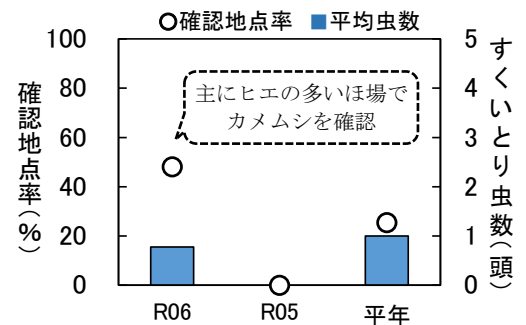


図 斑点米カメムシ類 本田(コシヒカリ)発生状況調査(R6年8月5日)

3回目の追加防除

◎品種：基本防除が2回の品種（ミルキーQueen、コシヒカリ、晩生）

※富富富は農薬使用成分の上限（12成分以内）があるため個別にご相談下さい。

◎以下の条件に合う方は、防除をご検討ください。

- ☐ ほ場の中にヒエが多発している
- ☐ ほ場が雑草地に隣接している
- ☐ 毎年カメムシの被害が多い

【防除方法】

◎防除時期：2回目防除から7日後

使用農薬名	10a 当たり散布量 倍率及び水量（薬量）	使用時期 回数
[粉剤] トレボン粉剤DL	4 kg	収穫7日前まで 3回以内
[液剤] スタークル液剤10	[乗用管理機等] 1000倍/100ℓ(薬量 100 ml) [ドローン] 8倍/0.8ℓ(薬量 100 ml)	収穫7日前まで 3回以内
[液剤] キラップフロアブル	[乗用管理機等] 1000倍/100ℓ(薬量 100 ml) [ドローン] 8倍/0.8ℓ(薬量 100 ml)	収穫14日前まで 2回以内

(注意)・農薬在庫は品薄状態ですので、早めに準備願います。

- ・使用基準（収穫前日数）を厳守のうえ、散布しましょう。
- ・散布間隔は、2回目散布から10日以上空けないようにしましょう。
- ・畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・風向きや風速に注意し、周辺の作物への飛散防止に努めましょう。